

所 信 表 明
並 び に
令和 7 年度市政運営方針

和泉市長 辻 宏 康

所 信 表 明

《 はじめに 》

この度の市長選挙におきまして、無投票という形で5期目の市政をお預かりすることとなりました。これはひとえに、議員並びに市民皆様のご理解とご協力、また職員の真摯な取組みの賜物と、心から感謝申し上げますとともに、その責任の重大さに、身の引き締まる思いがいたします。

これまでの4期16年を振り返りますと、市立病院改革、庁舎建替え、義務教育学校の新築等、本市を二分するような様々な事業が思い起こされます。時には、議員皆様や市民皆様から厳しいご意見をいただくこともありましたが、その都度、誠意を持って対応し、真摯に取り組むことを心掛けてまいりました。意見がぶつかるような場面があっても、ひとたび方向性が決まれば、課題解決に向け建設的にご議論いただき、多くの事業を前に進めることができたと感謝しております。

本当に多くの事業を推進して、数々の成果を得ることができました。しかし、私は思います。挑戦は、まだ終わっていない。むしろ

これからが本番だと。5期目、私のめざすまちは、「安心して暮らせるまち」「活力のある元気なまち」「ワクワクする夢のあるまち」です。

まず、「安心して暮らせるまち」は、日々の暮らしの中に、確かな安心があり、障がいのある人も、高齢者も、こどもも、誰もが笑顔で暮らせるまちです。互いに支え合う仕組みを、さらに強く、さらに優しく、さらに楽しく創り上げます。

そして「活力のある元気なまち」を実現するため、人口減少・少子高齢化という大きな波に、正面から挑んでまいります。デジタルの活用と地域経済の成長、若者の定着で、本市の可能性を最大限に引き出してまいります。

さらに、安心と活力に加えて実現したい「ワクワクする夢のあるまち」は、教育、文化、芸術、スポーツ等、こどもたちが夢を語り、大人も挑戦できるまちです。私は、その土壌をこの和泉市に必ず創ります。

これらのまちづくりに向け、「初心忘るべからず」の原点に立ち返って取り組んでまいります。「初心」とは、人生の試練に遭遇した時の心のありようのことで、「初心忘るべからず」とは、自分の未熟さを受け入れながら、新しい事態に挑戦していく心構えを忘れず、

どのような困難に陥っても、自ら進んで新しい試練に向かっていく
ということです。初心に立ち返り、「輝く未来へ一直線」を合言葉に、
これと決めたら徹底的にチャレンジしてまいります。

「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」
何事も、本気で取り組めば必ず道は拓けます。この思いを胸に、こ
れからも一步一步、全身全霊で歩みを続けてまいります。

議員並びに市民皆様、ともに挑み、ともに輝く未来を創ってまいり
ましょう。

《 基本的な政策方針 》

さて、本市は昭和31年、人口5万人のまちとしてスタートしまし
た。第2次ベビーブームや、ニュータウンの開発を経て発展を続けて
まいりましたが、平成27年を境に減少傾向が続き、昨年度策定しま
した「和泉市人口ビジョン」の人口推計によれば、この状況は今後も
続いていくことが見込まれております。

そうした中、今年度は第6次和泉市総合計画、そして次期和泉創発
プランの策定を予定しており、人口減少をはじめとした様々な課題
への対応、そして今後も持続的な発展を続けていくための施策づく
りを進めてまいります。これらの計画ともしっかりと連動させなが

ら、市政運営にあたりましては、先に述べました私がめざす目標に沿った取組みを進めてまいります。

【1. 安心して暮らせるまちづくり】

市長に就任してからの４期１６年間、行政にとって最も大切なのは「市民の生命と暮らしを守る」こととの思いを持って、市立病院の再生、市内４地域への消防体制の整備、そして防災拠点である市役所新庁舎の整備に取り組んでまいりました。

この間、東日本大震災や、新型コロナウイルス感染症といった未曾有の事態が発生し、平成３０年には、台風２１号が本市に大きな被害を及ぼしたこともありました。これら災害の傷跡は今なお記憶から消えることはありません。これらを教訓としてしっかりと心に刻み、災害に強いまちづくりを推し進めていかなければなりません。さらには、日本各地でインフラの老朽化が明らかとなり、これに起因する事故が相次いで報告されております。

本市では、災害に強く持続可能な上下水道施設を運営・管理するため、上下水道管路等の耐震化や老朽管の更新に取り組んでまいります。

また、市民の安心の確保に向けては防犯や救急体制の充実も必要です。防犯については、こどもや女性を対象とした犯罪や街頭犯罪を

抑止するため、防犯カメラの拡充や町会・自治会等に設置している防犯灯の電気料金についての補助を全額へと拡充いたします。

救急体制については、救急需要の高い時間帯に対応できる救急隊を増隊し、市民の安心に向けた取組みを拡充してまいります。

そして、こどもたちの安心を確保するため、ヤングケアラーや児童虐待、貧困等、困難な状況におかれているこどもを発見・支援するとともに、食事や学習、相談支援等を受けられる居場所を提供してまいります。また、家事・育児に不安や負担のある家庭をヘルパーが訪問・支援し、虐待の防止に取り組んでまいります。さらには、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、中学校給食の無償化にも取り組んでまいります。

【2. 活力のある元気なまちづくり】

本市はこれまで大阪市内への良好なアクセスに加え、都会の良さと田舎の良さを併せ持つ「トカイナカ」の魅力を強みとするベッドタウンとして、着実に発展を続けてまいりました。令和4年には道の駅「いずみ山愛の里」のリニューアルオープンや、本市で2軒目となるホテルがオープンし、現在も富秋中学校区等まちづくり構想や、北信太駅前整備事業など、住みよさと賑わいの創出に向けた取組み

を着実に進めております。

来年、本市は市制施行70周年の節目を迎えますが、31年後の市制施行100周年をしっかりと見据え、これからも本市が持続的に発展を続けていくことができる、誰もが笑顔で親しくあいさつを交わし、「住みたい、住んでよかった」と思える、賑わいのあるまちづくりに取り組んでまいります。

具体的には、本市の玄関口であるJR和泉府中駅前の賑わいづくりに取り組むほか、黒鳥山公園の飲食店舗等施設の整備及び管理運営への民間活力を導入いたします。

また、朝夕のピーク時を中心に交通渋滞が発生している和泉中央線の交差点改良等に取り組んでまいります。

そして、燃料費が高騰する中、市民生活や産業を支える公共性の高い交通・物流事業者に対して物価高騰支援を行います。

次に、就労を希望する障がい者への支援を強化するとともに、有期雇用により一般就労へのステップアップをめざす（仮称）チャレンジオフィスを市役所内に設置します。

リニューアルに取り組む老人集会所については、より身近で気軽に交流できる場とできるよう新たな価値を見出してまいります。

また、電子地域ポイントを導入し、市のポイント事業の集約を図ることで市民の利便性向上を図ってまいります。

【3. ワクワクする夢のあるまちづくり】

本市ではこれまで、ベッドタウンとして適切に行政サービスを提供し、暮らしやすいまちづくりに努めてまいりましたが、市制施行100周年を迎えたときには、これらのことに加え、楽しく、夢が感じられ、多くの人が自ら集まり、発展を続けていけるまちであってほしいと願っております。そのために、先に示した安心や活力の取組みを含めて、事業を具体化する際には、このまちの将来のすがたを思い浮かべてワクワクできるように進めていくとともに、英語力の向上による国際社会で活躍する人材育成など、未来を担うこどもたちが希望をもって成長していけるまちづくりを進めてまいります。

《 市政への想い 》

以上、私が5期目の市政に臨む所信の一端を申し述べさせていただきました。

現在、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催され、大変賑わっている「2025年大阪・関西万博」を、一過性のイベントに

してはならないと思っています。私たちの地域、そして日本が、いのちとどう向き合い、未来に向けてどのような価値を育み、どのような未来を創ろうとしているのか。このテーマは、まさに私たちに対する「問い」なのです。世界が持つ叡智と技術、文化と夢が交差しながら、答えを探す舞台が、「2025 年大阪・関西万博」ではないでしょうか。

この万博の勢いを、私たちのまちの新たな原動力へと昇華させ、教育・福祉・経済・環境等のあらゆる分野で、変革と成長を力強く進めてまいります。

この16年間で、議員並びに市民皆様と議論を尽くしながら、施設の更新や仕組みづくりを手掛けてまいりました。その歩みは、決して派手なものではなかったかもしれませんが。しかしそれは、大河の流れのように深く、静かで、確かなうねりを持って、次世代へと引き継がれるものと信じております。

私の好きな言葉の一つが、「人生すべて当たりくじ」です。私は、人生で起こることは、すべて当たりくじだと思っています。たとえ苦難が訪れようとも、それを学びに変え、成長の糧に変え、感謝に変えていくのです。そのような生き方こそが、自分を輝かせ、そのようなまちづくりこそが、まちを輝かせるのだと確信しております。

そして、もう一つ好きな言葉が、「ニコニコ顔の命がけ」です。
どのような時でも笑顔で、しかし命がけの覚悟を持って、物事に挑む
ということです。笑顔には人を動かす力があり、覚悟には心を動かす
熱があります。そして何より、「ニコニコ顔の命がけ」には、次世代
へとつないでいく希望があります。

変化の激しい時代だからこそ、私たちは原点に立ち返り、人と人と
が支え合い、願いを託し合える社会をつくっていかなければなりま
せん。議員皆様との連携、そして市民一人ひとりの声と力が、これから
のまちづくりの鍵を握っているのです。

私は、本市のすべての皆様と手を取り合い、地域の隅々まで光が
届くような政治を、誰もが未来に夢を描ける社会を、ともに築いてい
きたいと願っております。笑顔と覚悟を胸に、私たちは今、輝く未来
に向かって一直線に歩みだしました。すべては、次世代のために、
そして、今を生きるすべての人のために。

どうか、議員並びに市民皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りま
すよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年度 市政運営方針

続きまして、令和7年度の基本方針とその概要につきまして、先の第1回定例会においてご可決賜りました当初予算及び補正予算並びに今議会にご提案申し上げます補正予算（案）に基づき、ご説明いたします。

《 令和7年度予算の概要 》

令和7年度当初予算は、政策的な判断を伴う事業を盛り込まない「骨格予算」として編成したところですが、「和泉創発プラン」に基づき継続して取り組んでいる事業については、新規事業も含め計上させていただきました。

具体的には、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）や池上曾根史跡公園の整備などの教育・生涯学習環境の充実に加え、学校体育館等空調整備や（仮称）防災備蓄倉庫整備などの防犯・防災施策の充実に取り組んでまいります。

また、災害医療や医療介護連携、障がい者就労支援強化などの健康・福祉施策の充実、「2025年大阪・関西万博」における催事

やこども無料招待等のほか、お買い物割引チケット事業といった、にぎわいのあるまちづくりなどについて取り組んでまいります。

そして、この度の本定例会におきまして、5期目の公約に掲げた事業を含め「肉付け予算」を編成し、ご提案させていただいたところ
です。

《 令和7年度に取り組む主要な事業 》

それでは、令和7年度に取り組む主要な事業について、「第5次
和泉市総合計画」の体系に沿って、順次ご説明いたします。

1. 定住の促進

（「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり）

○地域のボランティアが運営するこども食堂について、行事保険の
手続簡略化と、運営にかかる費用負担を軽減するため、保険手続に
係る支援を行います。

○待機児童の解消に向けて、中部地域に新たな認定こども園等を
設置・運営する事業者を選定します。

○集団教育の確保と待機児童の解消を目的に、北松尾幼稚園と
北松尾保育園を統合し、来年4月に開園する北松尾こども園の

改修工事等を進めます。

○国府幼稚園と和泉保育園を統合し、令和 9 年 4 月に北西部地域で新たな公立認定こども園を開園するため、新園舎の建設工事に着手します。

○来年 4 月から開園する医療的ケア機能を備えた民間認定こども園の整備費用を補助するとともに、今年度から民間園の保育士を芦部保育園に先行配置し、円滑な引継ぎを行います。

○特別な支援を要する園児の、民間園での受入れ促進と保育機会の均等化を図るため、特別支援児補助金制度を拡充します。

○保育環境の改善と定員の拡充等を図るため、民間保育所等の大規模修繕等に要する費用を補助します。

○公立保育園における保育の質向上に向け、園児の安全確保のための午睡センサーを導入するとともに、保育士が園児とふれあう時間を確保するため、保育日誌等の I C T 化を推進します。

○市内 1 か所で実施している病児保育をさらに充実し、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、新たな事業者を募集します。

(社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実)

○令和 7 年 4 月に開校した槇尾学園において、特認校通学バスと

地元遠距離通学バスを運行するとともに、放課後の課外学習支援として、民間事業者による有償の英会話プログラムを実施します。

○令和9年4月開校をめざす施設一体型義務教育学校（小中一貫校）である（仮称）富秋学園について、新校舎整備工事に着手します。

○災害時の避難所としても使用する小学校体育館について、5校の空調整備工事を行うほか、いぶき野小学校・南池田小学校において非構造部材耐震化等改修工事を実施します。

○教育環境の充実を図るため、小・中学校の特別教室や給食室に空調を整備するほか、校舎の大規模改修について、国府小学校の改修工事及び小・中学校5校の設計に取り組みます。

○学力の向上と生徒指導の充実を図るため、中学校の少人数学級編制を2年生まで拡大するとともに、A Iドリルの活用やいずみ希望塾に継続して取り組みます。

○こどもの理解度を把握し、授業改善に取り組むため、モデル小学校に標準学力調査を導入します。

○G I G Aスクール構想の推進に向け、1人1台学習用端末をi P a dに更新するとともに、授業等での端末のさらなる活用を進めるため、G I G Aスクール推進コーディネーターを派遣します。

- 国際化に対応できる人材の育成と英語教育の促進及び市の国際化の推進に寄与するため、姉妹都市である米国のブルーミントン市へ、市内中学生を交換学生として派遣します。
- 英語学習の意欲を高めるため、英語検定受験料の補助を全中学生に拡大するとともに、公立高校入試で有利になる英語検定２級以上の取得促進と国際社会で活躍できる人材育成を目的に、英語力向上支援講座受講料の一部を補助します。
- 教員をめざす学生を学校に派遣し、学びの機会や児童生徒と触れ合う機会を創出することで、本市の学校現場を理解した意欲の高い学生の育成と将来の教員確保につなげます。
- こどもが先進技術やサービスに触れることにより、未来社会に夢や希望を感じられるよう、大阪府の万博招待事業での校外学習のバス代を補助するとともに、無料招待を行います。
- 地域とともにある学校づくりを進めるため、学校と地域住民、保護者とが協働する「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）」を市立学校全校に導入します。
- 学校給食の質の維持と保護者負担を軽減するため、米飯と牛乳の急激な価格高騰にかかる増額分を補助します。

(一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援)

○令和8年度一部リニューアルオープンをめざす(仮称)池上プレイ
ステージについて、引き続き多目的広場整備工事を行います。

○市史編さん事業を通じて調査・収集した古文書や歴史公文書を
一般向けに公開する仕組みを構築します。

○国の登録有形文化財である久保惣記念美術館の茶室の保存活用の
ため、耐震補強工事(Ⅱ期)の実施設計に着手します。

○久保惣記念美術館運営ビジョンに基づいたリニューアル工事
について、基本計画を策定します。

○国の万博国際交流プログラムを活用し、こどもを中心とした音楽・
文化・スポーツなどについてセネガル共和国と交流します。

(健康寿命の延伸をめざした健康づくりの推進)

○誰もが身近にスポーツを行える環境の充実として、令和6年度に
引き続き、(仮称)北部総合スポーツセンター基本構想の策定に
取り組みます。

○学校体育施設開放事業において、利用者の公平性・利便性の向上を
図るため、施設の予約抽選システム及びスマートロックを導入
します。

○医療や介護の専門職が、市民の健康に関する相談に応じる「まちな保健室」の取組みを強化します。

○身体的・精神的・社会的に健康であるウェルビーイングなまちづくりをめざし、より効果的で健康につながる施策提案を行うコンサルティング業務を委託します。

○地域交流活動を促進するため、はつが野四丁目から六丁目における新たな老人集会所を整備します。

(外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備)

○鶴山台に若い世帯が移り住み、にぎわうまちへ誘導するための環境整備として、鶴山台49号線等の道路改良に向けた予備設計と、鶴山台西公園の施設改修の検討を行います。

○南海バスの路線一部廃止に伴い、中山間地域の代替交通として、路線維持バス運行負担金を拡充し、公共交通の確保に取り組みます。

○北信太駅周辺の都市基盤整備を推進するため、引き続き、事業用地を取得するほか、西口広場やアクセス道路、駐輪場などを整備します。

○黒鳥山公園の一部エリアを活用し、飲食を主とした施設の民設民営をめざし、事業者選定を行うとともに、駐車場やトイレ、園路

整備工事に着手します。

○阪和線西エリアにおいて、地域に合った移動手段の検討を進めるため、デマンド型交通の実証運行を実施します。

○松尾山農道の市道化に向け、排水対策工事や道路側溝改修工事等の安全対策を行うとともに、市道納花谷山線等について、線形改良の道路予備設計等を行います。

○自転車乗車用ヘルメットの着用促進と交通事故による被害の軽減を図るため、全年齢を対象にヘルメット購入費用の一部を補助します。

○市民の快適な生活環境の保持及び動物愛護の精神の普及を推進するため、飼い主がいない猫に不妊去勢手術を実施する際の助成金を拡充します。

(環境に配慮した快適なライフスタイルの確立)

○脱炭素化を推進するため、市民を対象とした太陽光発電システム・蓄電池・高効率給湯器等の導入補助と、事業者を対象とした太陽光発電システム・蓄電池の導入補助を行います。

2. にぎわいの促進

(活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出)

○国の重点支援地方交付金を活用したお買い物割引チケットを配布し、物価高騰による市民生活の支援と、市内の消費喚起及び商業活性化を図ります。

○市民生活や産業を支える公共性の高い交通・物流事業者に対して、物価高騰支援を講じます。

○就労を希望する障がい者を市で有期雇用し、一般就労へのステップアップをめざす（仮称）チャレンジオフィスについて、令和8年度からの設置に向け準備を進めます。

（新旧の魅力が融合する観光の振興）

○「2025年大阪・関西万博」において和泉市の魅力を国内外に発信するとともに、来場機会を創出するため、大阪ウィークなどのイベント参加と直通バスツアーの誘致を行います。

○中国の伝統や文化に触れ、国際交流を更に推進するため、友好都市である中国江蘇省南通市から代表団を受け入れ、「2025年大阪・関西万博」でコラボステージを実施します。

○青少年の家を活性化するため、令和9年度のリニューアルオープンをめざし改修工事を行います。

○施設利用者の環境改善と集客促進を図るため、老朽化している

南部リージョンセンター・道の駅屋外トイレの改修工事を行います。

3. 安全・安心の促進

(住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり)

○脱毛症状による外見の変貌に悩むこどもの身体的、精神的負担や不安を和らげるため、こども医療用ウィッグの購入費用に対する補助制度を創設します。

○児童虐待やヤングケアラーなどにより困難を抱えるこどもが安心して食事できたり、生活習慣の改善や学習・相談の支援が行える居場所をつくります。

(災害に備える仕組みづくり)

○南海トラフ地震等の大規模災害に備え、災害用備蓄品の備蓄や大規模災害時にプッシュ型で届く緊急支援物資の受入場所として、旧消防本部跡地に（仮称）防災備蓄倉庫を新築整備します。

○避難所での生活環境改善を目的に、洋式水洗の組立式トイレ及び自動ラップ式トイレを整備します。

○消防・救急体制の充実を図るため、老朽化した高規格救急車、救助工作車、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車を更新します。

○災害時において、医師会、歯科医師会、薬剤師会など全ての関係機関がスムーズに協力できる仕組みを構築するため、「災害時保健・医療活動マニュアル」作成に着手します。

○水道管の漏水による２次被害を防止するため、新たに人工衛星の画像解析技術を活用した漏水調査を実施します。

○ＡＩを用いた水道の管路劣化調査を行い、管路更新に活用します。

○災害に強く持続可能な上下水道施設の管理運営を行うため、上下水道耐震化計画に基づき、重要施設に接続する上下水道管路の耐震化・更新等を迅速かつ効率的に進めます。

○下水道管路施設の維持管理体制の確保及び効率かつ効果的な更新マネジメントに向け、ＰＰＰ／ＰＦＩの導入の可能性を検討します。

4. 支えあい・協働の促進

（みんなで取り組む連携・協働のまちづくり）

○市民が自然と集まる居場所づくりに向け、市民相互の交流を通じた地域社会の新たな担い手の育成及び社会資源の発掘を図るための講演会を開催します。

○地域の繋がりやコミュニケーションの大切さを再認識し、コミュニケーションの第一歩である「あいさつ」のさらなる浸透を

図るため、全市民に対し決意表明を行います。

- 従来の制度では支援が困難な個人や世帯に対し、分野を超えた包括的な支援を行うため、アドバイザーを交えた検討を行います。

(多様性を認め合う人権尊重のまちづくり)

- 裏付けをもった事業展開を行うため、地域課題や認知症等の世代別課題をはじめ、市が取り組んでいる施策に対する市民の幸福度、満足度等を調査します。
- 市民の間に人権尊重の精神を育てるとともに、その理念を普及させ理解を深めるため、人権教育・啓発推進計画の策定に着手します。
- 男女の個人としての尊厳を重んじ、一人ひとりの個性と能力が活かせる社会をめざすため、男女共同参画行動計画の策定に着手します。

5. 都市経営の促進

(既存ストックの適正管理の促進)

- 令和6年度に引き続き、人権文化センター市民文化ホール除却工事を行います。
- 今年5月に庁舎第1分館（愛称：いずみ保健・子育てプラザ）に

移転集約した旧施設の除却工事を行います。

○富秋中学校区等まちづくりにおいて、市営住宅、市営店舗等及び
（仮称）多世代交流拠点施設の集約建替えなどの設計・工事を
一体的に行う事業者を選定し、事業を推進します。

○未利用地のうち処分可能な財産を効果的に利活用するため、売却、
貸付けなどを実施します。

（市民の信頼に応え、都市経営を支える行財政運営）

○個人版ふるさと納税について、創意工夫を凝らし更なる歳入を
確保するため、地場製品の積極的なP Rや新たな返礼品の発掘
などに取り組みます。

○企業版ふるさと納税について、寄附金を獲得するため包括連携協定
を締結している企業を中心にアプローチするほか、民間企業の
ノウハウを活用した取り組みを行います。

○市民サービス向上のため、国民健康保険に関する市民からの電話
問合せを自動化するとともに閉庁時でも音声案内やSMS送信を
可能とする「自動音声応答システム」を導入します。

○監査機能の充実及び業務効率化を図るため、財政援助団体等に
対する監査の事前調査を、引き続き専門的ノウハウを有する

監査法人に委託します。

《 結びに 》

以上が、令和7年度市政運営方針でございます。

冒頭申し上げたとおり、5期目という重責を担わせていただき、私は「安心して暮らせるまち」「活力のある元気なまち」、そして「ワクワクする夢のあるまち」をめざして徹底的にチャレンジしてまいります。それが人口減少・少子高齢化の大きな波を越え、「輝く未来へ一直線」へとつながっていくものと確信しております。

どうか議員並びに市民皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。